

議会だより

元いっしょにあげ!
土庄町



34年ぶり 新春の成人式

No.35 contents

- 町議会の動き…………… 2～3P
- 常任委員会の活動…………… 3～6P
- 特別委員会の活動…………… 6P
- 一般質問…………… 6～8P



旧中央公民館での成人式（昭和40年代）

町議会の動き

こんなことが決まりました

12月定例会は、12月10日から12日までの3日間の会期で開かれ、平成20年度補正予算6件、条例関係3件、その他4件、工事請負契約の変更3件、平成19年度決算認定、議員提案2件について審議し、原案どおり可決しました。



平成19年度決算認定

平成19年度一般会計の歳入総額7億4千6百61万3千円、歳出総額6億1千6百68万円とそれぞれ前年度に比べ3.8%、6.9%と増額決算となっております。

一般会計決算の形式収支は2億2千9百93万円の黒字であるが、繰越財源、財政調整基金の取り崩しなどを引くと実質単年度収支は5億1千7百48万1千円の赤字となっております。

経常収支比率は平成19年度87.7%と、前年度より0.7%高くなっております。

また、財政調整基金も2千3百17万2千円減少して、6億2千5百65万2千円という苦しい状況となっております。

一方起債は、4億2千4百32万2千円は減ったものの一般会計、企業・特別会計を含めると、96億1千2百98万9千円の町債借入れとなっております。

り、町民1人につき57万9千5百85円の借金をしていることとなります。

歳出面では、扶助費等の増加や土庄中学校校舎改築事業等による普通建設事業費が大幅に増え、投資的経費の割合が増加しており、厳しい状況に変わりはありません。

以上、各課とも慎重に審議をし、町長を始め執行部に対し、苦言を申し上げたうえで、すべての決算を承認したことを報告します。

数多くの質問ができましたが、主な各課の審議内容を掲載します。

《総務課》

ホームページのバナー広告の掲載、各団体への補助金カット、町有地売却の見直し。

《議会事務局》

本議会及び各委員会の開催状況・監査の実施状

平成20年度補正予算内訳

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後	説明
一般会計	29,196	7,462,720	<主な事業> エンジェルロード公園整備工事 13,800 県営伝法川河川海岸維持修繕工事負担金 2,127 道路橋りょう・河川費 12,050
特別会計			
国民健康保険事業	25,530	1,934,096	後期高齢者支援金負担金
農業集落排水事業	400	22,962	北山地区し尿処理施設修繕等
介護保険事業	-	1,268,679	介護予防費から高額介護費に組み替え
福祉サービス事業	△4,294	111,529	人件費の減額等
病院事業	1,395	1,913,467	病児・病後児保育事業

条例の改正

国民健康保険条例	港湾管理条例	中央病院使用料・手数料条例
出産育児一時金の一部加算の規定	港湾施設使用料の変更(3月1日施行)	病児・病後児保育施設使用料(1月1日施行)
現行350,000円 ↓ 30,000円 を限度に加算	定期利用券の発行 5時間以内 210円→200円 5時間を超え 12時間以内310円→300円 12時間を超え 6時間ごと150円増→100円増	1日につき 2,100円 6時間以内 1,050円 (詳しくは町広報1月号をご覧ください。)

契約を変更しました

工事名	土庄中学校仮設校舎及び校舎改築建築工事
契約金額	1,044,750,000円→1,056,829,200円
契約の相手方	株式会社 穴吹工務店
(建築確認申請による構造変更並びに工期延長に伴う増額及び施設充実)	

工事名	土庄中学校校舎改築給排水設備工事
契約金額	68,250,000円→71,407,350円
契約の相手方	株式会社 丸島ハウジングサービス
(受水槽及び高架水槽設備並びに既設施設に接続する汚水・排水設備)	

工事名	土庄中学校校舎改築電気設備工事
契約金額	75,747,000円→82,163,550円
契約の相手方	井口電気工事株式会社
(音響設備、防災防犯設備及び映像設備等の充実)	

その他

① 香川県市町総合事務組合規約の一部変更規約 2件

② 香川県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う財産処分について 2件

意見書

① 地方の道路整備のための財源確保に関する意見書

② トンネルじん肺根絶の抜本的な対策を求める意見書 2件の意見書を採用し、関係大臣等に提出。

況や全国研修会の参加等。

《出納室》

公金管理運用。

《福祉課》

身体障害者等の社会的弱者の自立政策の効果、介護保険給付費の支給状況。

《住民環境課》

資源ゴミの回収状況、生ゴミ処理機の購入助成。

《農林水産課》

農業委員会の委員定数、サル・シカの被害等。

《生涯学習課》

町民プール施設の今後、放課後子ども教室の今後の展望。

《教育総務課》

学校評議員の役割、中学校の教育用コンピュータのリースの今後、保育所措置費委託料。

《中央病院》

豊島健康センターの利用状況、医師・看護師等

の確保。

《税務課》

税源移譲による町民税の増収、欠損額の内容、滞納の未然防止と滞納整理、国保税の未納者対策。

《商工観光課》

コールセンター誘致事業の状況、桜の植樹、オリーブ植栽100周年記念事業。

《企画課》

小豆島移住交流推進協議会の現状、おせっかいパーティーの計画。

《健康増進課》

居宅介護サービスのヘルパーの需要と確保。

《建設課》

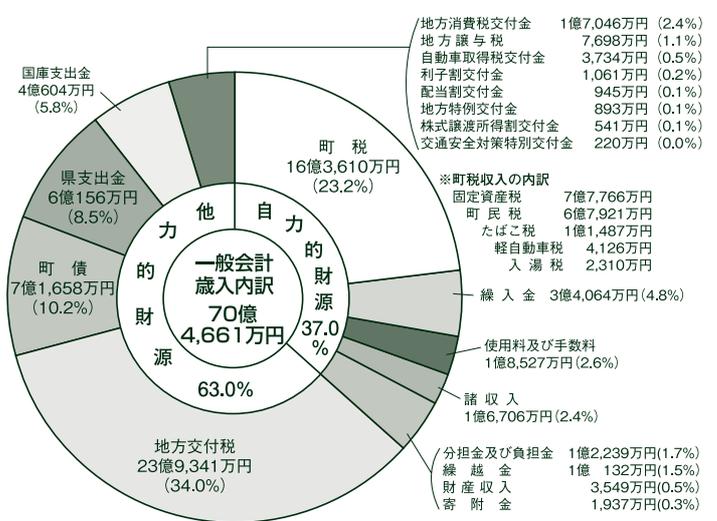
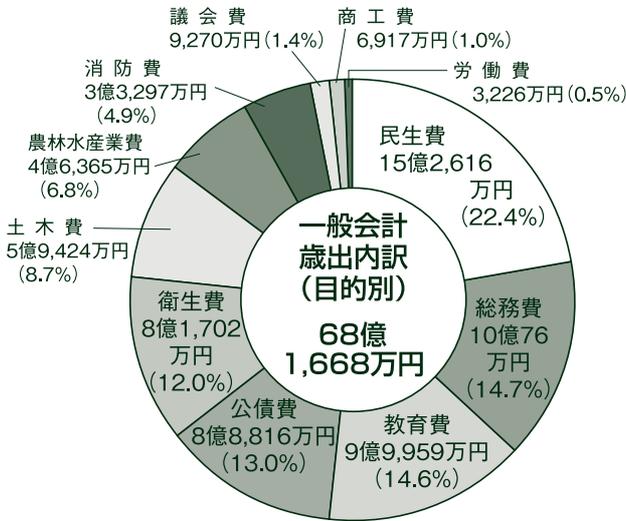
高潮対策事業。

《水道課》

水事情、肥土山浄水場の整備計画。

《人権対策課》

小海浜住宅の新家賃の設定状況。



その後、大井取水口、殿川ダム、分水嶺、新中山池を視察してから蛙子池に上がり、蛙子新池の現況について説明を受け、水道課関係の視察は終わりました。

その後、大井取水口、殿川ダム、分水嶺、新中山池を視察してから蛙子池に上がり、蛙子新池の現況について説明を受け、水道課関係の視察は終わりました。

施設は、昭和34年3月から生産開始し、高速沈殿池と急速濾過器等を順次設置し、現在の施設になっており、約50年経過しています。

肥土山浄水場では、殿川と伝法川水系の取水と肥土山浄水場への水の流れと施設等の現況について説明を受けました。

肥土山浄水場、殿川ダム、新中山池、蛙子池に上がり、最後にエンジンロードの視察をしました。

肥土山浄水場では、殿川と伝法川水系の取水と肥土山浄水場への水の流れと施設等の現況について説明を受けました。

肥土山浄水場、殿川ダム、新中山池、蛙子池に上がり、最後にエンジンロードの視察をしました。

肥土山浄水場では、殿川と伝法川水系の取水と肥土山浄水場への水の流れと施設等の現況について説明を受けました。



肥土山浄水場での視察

次に蛙子池から銚子深周辺の「さくらの森」事業のさくらの植栽状況について、商工観光課より説明を受けました。

日本さくらの会から、3年間で950本の若木の配布を受け、銚子深から蛙子池周辺地に植栽を行なっています。この事業は平成18年から、土庄町が小豆島とのしよ観光協会に委託したもので、植栽については、本年度で終了との説明でした。

さくらの植栽状況や鹿等の被害対策の現況を視察し、その後、エンジンロードまで帰り、「エンジンロード公園」整備

常任委員会の活動

総務建設委員会

水道課・商工観光課 農林水産課

〔現地視察〕



エンジェルロード駐車場予定地の視察

備事業の概要について、農林水産課と商工観光課から説明を受けました。

まず、農林水産課から、前々から関係者である土庄中央漁業組合、小豆島とのしよ観光協会等の関係者との協議の結果、平成20年12月末までに、公園整備予定地に置いてある漁具を移転することで、合意を得ることができ、移転に要する費用と不用の漁具を処分する経費は、12月議会で補正を

お願いしたいとの説明でした。

次に、商工観光課から公園整備計画について説明を受けました。

現在、多くの観光客が訪れていますが、駐車場がないため観光客にとって不便をきたしており、一方で路上駐車による近隣からの苦情が寄せられているとのことでした。

このような中で、本事業は漁具等を野積みしていた区域を公園化するこ

とによって、観光客の利便性向上と付近の環境美化を図りたいということ

大きく駐車場の整備と緑地整備、それと町道の舗装整備を実施したいとの説明でした。財源については、「地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金」を充てたいと考えています。また、12月議会に補正予算として上程したいとのこと

税務課

固定資産の土地の評価方式についての説明がありました。

3年に一度の評価替え年度であります平成21年基準年度より、路線価評価方式への移行をするため、準備を進めてきたとのこと

具体的な手順については、まず、地域的に見て大きく用途地区を区分し、用途地区の中で小さなグループの状況類似地区を区分します。次に状況類似地区の中から最も標準的な道路1か所

を主要な街路として選定します。土庄町の主要な街路として、7本を選定し、次に選定した主要な街路に接する宅地の中から、主要街路と同数の7画地の標準地を選定します。

この選定された標準地を不動産鑑定士が鑑定し、標準宅地の適正な鑑定価格を出します。次に標準地の鑑定評価の7割を主要な街路の路線価として付設します。その他の街路路線価は、主要な街路を基本として比率表により路線価を付設していきます。最後に路線に沿接している各宅地に1㎡あたりの評点数を計算し、各筆の1㎡の評点数に面積をかけたものがこの土地の評価額となります。

香川県下でも路線価方式をとっていないのは土庄町、直島町、綾川町の3町のみで、ほとんどの市町が路線価方式に移行しており、土庄町も平成21年度の評価替えより路線価方式を採用したいとの説明です。

建設課

9月に実施した吉ヶ浦等の町営駐車場の2回目のアンケート調査結果と料金改正等について、説明がありました。

今回は県総合事務所の職員と土庄高校の教職員を対象に実施しました。回答結果は、月毎の定期券を希望しますかは、「はい」が約35%、定期料金は月いくらが適当かは、「3千円まで」が一番多い結果になり、3千円から5千円までが大半であったとのこと

今回の調査では、島外の方が多く、前回の調査よりも定期券の希望者が多かったようです。また、現在は駐車場を利用していませんが、定期券が導入されるならば、利用したいという意見もたくさんあったとの説明でした。次に、町港湾管理条例の一部改正は、第6条に定期利用券を発行することができるといふ文言を新たに加えています。また、使用料は、5時間以内を210円から200

円に、5時間から12時間を310円から300円に、12時間を超える6時間ごとには150円増から100円増に改正したいとの説明で、10円単位の支払いをなくすることで、利用者の利便性を図りたいとのことでした。

定期券は、1ヵ月3千500円、3ヵ月で1万円の料金設定ということですが、それと、平和の群像横の駐車場の料金ですが、30分以内は無料ですが、30分以内の利用ですが、30分以内の利用では、気ぜわしいなどという住民からの意見があり、60分までに延長したいとの説明でした。

委員より、アンケート調査の結果により、1ヵ月の定期を3千500円の料金を設定したいようだが、中途半端な料金設定ではないか。例えば、3千円ぐらいのキリのいい料金では考えなかったのかという質問があり、執行部より、近隣の民間駐車場の経営者の意見も聞き、民間駐車場を圧迫しない程度の料金設定にしたとの答弁でした。

教育民生委員会

「現地視察」

「土庄中学校校舎」の改築現場を視察し、工事の進捗状況について説明を受けました。

現在の工事の状況は、当初の予定より1週間ぐらい遅れているが、目標としては2月中旬の予定で努力しているとのことでした。

教育総務課

前回、議員より提案があった、校舎の西側壁面に絵を描くことについて、学校側は、壁面に懸垂幕の設置を希望しており、学校教育目標等のスローガン、全国大会出場PR等のメッセージボードに使用したい意向で、教育委員会においても同様とのこと。

委員より、スケジュール等を考えても、足場・工期の問題で絵を描くこと自体が物理的に難しく、今回は工期最優先で



土庄中学校校舎建築現場の視察

進めの方がいいと思う。結論としては、懸垂幕に絵を描くことは、今後の検討課題にしてはどうかという意見がほとんどでした。

次に、中学校改築工事の変更について、建築工事・給排水設備工事・電気設備工事の3業者に対して、変更契約を12月議会に提案したいという説明でした。内容については仮設校舎と本体工事、給排水設備工事、電気設備工事、以上3件で2千2百66万円の増が見込ま

れるとの説明でした。

今年度、既設の解体を予定していましたが、工期の延長により解体が出来なくなり、補正予算は組まずに充当したいとの説明でした。

なお、財源的については、本年度国費の交付金が2億7千9百万円程度から、内定で4億4千3百万円強の国費になる予定で、国費だけで1億6千4百万円の増になる予定との説明でした。
委員より、2千2百66万円の増であるが、少し

でも安く上げることに努力していただきたいとの意見があり、当委員会としては、もう一度、よく精査して少しでも削減出来るよう努力していただきたいと、執行部に要望いたしました。

最後に、北浦小学校の再編の状況について報告があり、児童数の減少もあり、23年度以降は状況の変化によって児童数等勘案しながら、協議したいとの報告がありました。

生涯学習課

継続調査である土庄町民プールの今後の取り扱いについての説明がありました。

問題の所在としては、老朽化の進行と公共施設管理責任の厳罰化の中でどう判断するか、判断の大きな要素は、予算的にどうか、一般開放はするのか、また施設の意義は、①学校教育②社会教育③防災面の3分野の役割がある。

以上の点を考えたうえで教育委員会の施設面に

関する方針は、①新築及び全面的改築については、財政面を考えれば教育委員会は判断に苦しんでいる。②50mプールについては、当分の間廃止は適当ではないと判断。従って修繕は急ぐ順に実施したいとの説明でした。

委員より、「一般開放をするのか、しないのか」という質問があり、執行部より、利用面を考えながら存続が望ましいと考えている。当面利用可能な必要最小限度の修理をして、施設を使っていきたい。一般開放は、考えていないとの答弁でした。

さらに、議論を重ねたところ「一般開放はやめることとし、修理をして中学校の水泳授業と学童水泳記録会で使用のために存続すべき」とする委員が多く、当委員会としては、一般開放はしない、最小限度の費用で最大の効果を上げるような修理修繕を行い、存続すべきとの結論になり、所要の措置をとるよう執行部に要望しました。

福祉課

出産育児一時金の見直しと特定健康診査についての説明があり、出産育児一時金は、3万円引き上げ35万円から38万円の支給になります。

分娩に関連して発生した、重度脳性麻痺児に対する補償を備えた、産科医療補償制度が平成21年1月1日からの創設に伴い、その保険料に該当する部分が出産費に加算されることとす。

委員より、産科医療補償制度の内容について質問があり、執行部より、最高3千万円の補償額があります。重度脳性麻痺児ができてしまう原因等を調査する経費にもその3万円を充てることになっている。最近産科医になる医師が少なく、裁判等の紛争の防止と早期解決及び産科医療の質の向上にも繋がるとの説明でした。

次に、特定健康診査の個人負担金については、今年度、個別健診、集団健診とも一律500円の

自己負担をお願いして
ます。来年度からは、後
期高齢者健診においても
個別健診を取り入れるた
め、自己負担は医療機関
への委託金額の1割程度
となり、後期高齢健診と
の整合を図りたいとの説
明でした。従って、従来
の500円が800円程
度になるとの説明でした。

健康増進課

がん検診等の自己負担
金についての説明があり
ました。

現在、生活保護世帯と
町民税非課税世帯に該当
する方には、自己負担金
を徴収していませんが、
平成20年度から始まった
特定検診、後期高齢者健
診では、自己負担金を生
活保護世帯以外は、一律
に負担金を徴収している
ことや、県下の状況や町
の財政事情及び公平性の
観点からも、平成21年度
からは町民税非課税世帯
の受診者からも負担金を
徴収したいと考えている
との説明でした。

交通問題対策特別委員会

10月20日、第3回目
の交通問題対策特別委
員会を開催いたしました
ので、ご報告いたし
ます。

高松～小豆島間の3
航路、岡山～土庄、日
生～大部、福田～姫路
間の全てのフェリーの
運賃が値上げするとい
うことで、急ぎよ集ま
っていただきました。

企画課から、各社フ
エリーの運賃値上げ等
についての説明があ
り、全ての航路とも、
11月1日から運賃を値
上げするとの説明でし
た。

委員より、町の対応
はこれでいいのか。運
輸局にも事前に説明を
していただきたいとの
意見があり、執行部よ
り、制度上は行政に対
して、どうこう言う必
要性はない制度になっ
ているが、町に対して
県・国が何も言ってい
ない。今後、このよう
な事がある場合は、事

前に町に話をしていた
だくよう県・国に要望
していきたいとの答弁
でした。

また委員より、これ
らの航路を国道並みの
扱いになるような対策
を考えて欲しいとの意
見があり、執行部より、
今年の町村会の陳情の
中に入れており、国道
と国道を結んだ航路

は、国道並みの助成金
を出すよう陳情をして
いる。また、東港以外
の航路は全て指定航路
になっているが、この
指定航路の内容につい
て、四国運輸局の方を
お招きして、勉強会を
したらどうかとの意見
がありました。

最後に、各委員から
の意見をまとめて、フ
エリー会社・運輸局等
に強く要望してもらい
たいと執行部にお願
いしました。



町政に対する質問

12月定例会 一般質問事項

丹生則幸 議員

今後の水対策と池・ダ
ムの有効利用について

① 規制緩和によ
って有効に夏期
制限水位を調整し、水を
もう少し貯められるので
はないか。

② 砂防ダムなど
にも水を貯められ
るよう県などと協議して
みてはどうか。

③ 池・ダムなど
の堆積土砂を取
り除いて貯水率を増やし
てもいいのではないか。

ダム内部に堆
積土が堆積しな
いよう事前に上流部で堆
積土砂を取り除くように
県並びに広域行政事務組
合と協議したいと思いま
す。ため池の浚渫につ
いては、堆積土の処分地の
確保が困難なうえ、その
割には貯水量の増加が少
量であることなどにより、
費用対効果の面から、現
在のところは計画はして
いません。

県に対しては、
ダムの第一の目
的が下流域の治水上の安
全確保が前提であること
から難しい問題ではある
が、昨年に引き続き、少
雨傾向で渇水状態である
島内の現状を訴え、洪水
調節機能の弾力的運用や
制限期間の緩和について
の見直しを再度お願い
したいと思っています。

県に對しては、
ダムの第一の目
的が下流域の治水上の安
全確保が前提であること
から難しい問題ではある
が、昨年に引き続き、少
雨傾向で渇水状態である
島内の現状を訴え、洪水
調節機能の弾力的運用や
制限期間の緩和について
の見直しを再度お願い
したいと思っています。

私が町の活力活
性化及び経済効
果への提言。①有料老人
ホーム(民間)の誘致、
②プロ・アマのキャン
プの誘致、③交通刑務所
の誘致について。

まず始めに、老
人ホームについて
は、大鐸地域の小規模多
機能の居宅サービス施設

まず始めに、老
人ホームについて
は、大鐸地域の小規模多
機能の居宅サービス施設

川口幸路 議員

町長、明日の我が町をどの
ようにお考えでしょうか

が大鐸小学校跡地に出来
ました。プロ・アマのキ
ャンプ地については、グ
ラウンド、またフレトピ
アホールが夏・春の大学
の合宿等々に使われてお
り、本年の秋にはファイ
ブアローズという今5連
勝をして頑張っているバ
スケットチームが1週間の
合宿をしました。今後は
そのようなことを含め
てカマタマーレ讃岐、オ
リーブガイナズ等手近
なところのキャンプ地と
いう意味で努力して行き
たいと思いますし、将来
的にはプロ野球を狙って
行きたいですが、グラウ
ンド等々の問題も考えな
ければなりません。最後
に交通刑務所については、
観光地としてのミスマッ
チの問題もあろうかと思
いますし、高知県の東洋
町で核燃料を再処理して
できる高レベル放射性廃
棄物を一旦町が引き受け
るといふことで、町長が
失脚したという例もござ
います。そういうことか
ら観光地としての小豆島
にとっては特別な問題で
もあるのです、いろいろと
これからも検討をして行
きたいと思っています。

山口保範 議員
町政運営の基本政策実現のため
にどう総括し、何に着目し、
何に力を入れたか、またその
成果と今後の具体化は

Q 財政状況が厳しいので、知恵と工夫、合併も視野に行政改革の方針と状況は。

A 財政的には、入るを量りて出るを制す、経費削減と行政サービスの質を落とさない基本方針で進めている。

Q 住民本位の行政、対話と協調の姿勢での行政運営の状況は。

A 自治懇談会でのご意見に対する配慮と、皆様の出席を作り、協働自治を目指します。

◆ その他、希望して元氣・誇りの持てる町、協働を取り入れた信頼される自治体の構築、コールセンター誘致等々の質問がありました。

小学校跡地の活用について

Q 旧戸形・大鐸・大部小学校の跡地の活用と地域振興策は。

A 旧戸形小は、一部を公民館、また雇用機会の創出、芸術文化の学びの場の運営が検討されている。旧大鐸小は、公民館の移転も地域からは要望されているが、財源確保に苦慮しており、地元の協力もお願いしたい。旧大部小の解体は地元より正式にはない。危険な建物と承知しているが、財源などいしたかない状況。

◆ その他、今後の再編見直し1校への答申についての質問もありました。

土庄港の整備

Q ①国道延長の経過と見直し。

② 群像前を中心とした陸上部分の再配置の見直し。
③ 土庄港周辺景観整備と高潮対策、また町全体の高潮対策の状況は。

A 県は引き続き国道436号から第

一岸壁までの臨港道路整備を予定し、町も送迎用の駐車場・バスターミナルの整備を予定している。また高潮壁には、子どもの作品展示、PRポスター等を設置できる構造にしている。

川本貴也 議員
コールセンター

Q コールセンター誘致の現在の進展状況について。

A 小豆島コールセンター企業誘致委員会(幹事会)において、NTT西日本土庄交換所事務棟の2階部分を候補として、まずは施設改修費の概算見積りを出し、その結果をもって町が進出希望の企業との交渉に臨むという方針を立てています。ただ、もう1件別の民間施設について、1月末を期限として改修費と改修後の賃料の見込みを積算しています。一方、進出希望の企業との交渉については、沖縄県に進出した際の条件などを参考に、企業側の要望事項

を提示していただくよう伝えていきます。企業側の要望事項が示された段階で、候補施設の賃料などの条件を勘案して、町としてどこまで助成できるのか、最終的な検討を行いたいと考えています。

上川正衛 議員
次年度の予算編成について

Q 厳しい経済情勢のもとでの財政運営・予算編成について来年度予算の編成方針など。

A 来年度は、経常経費は前年度予算の97%の範囲内、また各種団体補助金は、原則前年度予算の95%の範囲内として予算編成を進めています。

また、町債の発行は、事業枠の中での起債発行はありますが、町独自の町債はこれまで発行した経過はありません。

新小学校建替えについて

Q 中学校建替えも来年春には完成と

のことで、次は小学校建替えを考えるべきでは。

A 北浦小学校を除き、町内のほとんどの小学校校舎が耐震構造になっておらず、小学校再編協議会においても、将来的展望に立ち、新築1校が望ましいとの答申を受けています。今後は、議員の皆様方との十分な協議の中で、その計画に沿って小学校の建設計画を進めて行きたいと考えています。

泊 満夫 議員
小学校の雨漏り対策を早急に

Q ①土庄小学校をはじめ小学校の雨漏り状況について調査・報告をお願いしたい。

② いたるところに数年前からと思われる設備劣化が見られますが、過去の対応状況はどうか。

③ 今後の修繕に向けた計画をお示し願いたい。また各公共施設のメンテナンスの基本的考え方についてもお伺いしたい。

A 土庄小学校校舎の雨漏り問題は、昭和60年に大規模改修工事を行い、その後、数回の修理を経て現在に至っています。

教育委員会としても、業者と共に再三にわたり模索して来ましたが、原因箇所を特定できず補修方法が見当たらない現状となっております。毎年、学校現場並びに町PTA連絡協議会からも、多くの修繕箇所の要望があります。緊急度、必要度等を考慮し、予算の範囲内で対応していますが、要望に答えられていないのも事実です。今後の学校施設の改修計画は、どの校舎も老朽化が進む中、小学校再編との関連を考慮しながら進めていきたいと考えています。

中央病院の
初診対応の改善を

Q 急な発熱・嘔吐、小児喘息の駆け込みなどに対応した総合診療課の設置、ベテラン看護師の事前対応などによる、早期診療体制の確立についてお伺いします。

A 内科の初診ですと患者に事前に問診表を書いていただき、病状、容態などによっては、検温、診察前に血液検査、X線検査を行うなど、できるだけ早く診察を終えるよう努めています。その他の診療科では、予約診察、予約外診察といった対応は難しいことでもあります。患者の症状により緊急性を必要とする場合には、可能な限り順番に関係なく優先させて診察を行っています。

三枝邦彦 議員
石博について

Q その後、小豆島町との話し合いでどの様に進んでいますか？また平成21年にはするのですか。

A 「石博覧会」また「石サミット」を大坂城残石記念公園で小豆島町と合同で行うことは決定をしています。最近では、「瀬戸内国際芸術祭」のプレとして来年度「石の丁場めぐり」を2010年の「瀬

戸内国際芸術祭」の連携事業としてはという話が出ています。また2009年は「地芝居サミット」、「醤油サミット」また「町歩き」もありますし、「小豆島まつり」、「瀬戸内海タートルフルマラソン大会」が30周年、それから伝統ある「小豆島駅伝」が50周年というイベントが目白押しとなっています。出来れば来年、再来年に「瀬戸内国際芸術祭」とタイアップした形で、島の伝統の文化という意味合いで今後の行事として入れたらと思いますし、坂下町長とも協議をして行きたいと思っています。

東港の活用

Q 観光港としての役目を今の時点で果たしていませんが、今後は町としての様に取り組んでいくのか。また、東港の町有地の売却は？

A 今後の東港の整備計画等は、香川県からは何も聞いていませんが、新聞等で報道さ

れている定期航路が就航することになれば、管理者である香川県、関係者等と協議をして行きたいと思えます。また、東港のマルナカ横の町有地は、町有地売却事業の中で、売却に向けて努力しているところですが、観光港としての周辺整備等のため、企業等から購入希望があれば、積極的に関係者とも協議をしながら、活用方法について相談させていただきます。

子ども議員の鋭い質問に町長もたじたじ



H21.1.26子ども議会のように 143名代表12名が質問

町議会を傍聴してみませんか！
次回は、3月6日からの予定です。
詳しくは、議会事務局（TEL62-7011）へお問い合わせ下さい。

編集後記

34年ぶりの新春の成人式が1月11日に開催された。昭和50年1月を最後に夏に開催されていたものである。成人式のルーツは終戦間もない1946年11月22日、埼玉県蕨（わらび）市の現蕨北小学校の校庭にテントを張り実施された「青年祭」である。敗戦当時、次代を担う青年たちに明るい希望を持たせ励ますために行われた。

国は蕨市に影響を受け1948年公布・施行された祝日法により「大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝励す」と趣旨のもと、翌年1月15日に成人の日として制定した。今は1998年の祝日法改正により2000年から1月第2月曜日に移動している。



この議会だよりは、再生紙を使用しています。